

薩摩川内 広報

さつませんだい

10

October.2024
vol.480



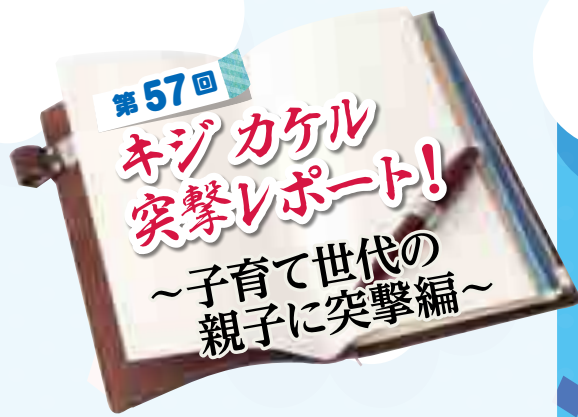
わたしたちのふるさとをこの先も



友だち
募集中



自治体広報紙配信
アプリ「マチイロ」
ダウンロード
はこちら



4月のオープン以来、毎日子どもたちでにぎわいを見せるセンノオトのキッズスペース。
今回は、キッズスペースで遊ぶ子育て中の親子へ突撃し、子育てで事情や悩みを取材しました。子育て世代の思いに加え、子育てに関する情報を紹介します。



いざ！
キジカケル！



本市で子育てするうえで、良かったところを教えてください。



室内の遊び場が増えたことに加えて、SSプラザさんだいで、子育てに関する相談や講座の受講ができるので、とても助かります。また、地域子育て支援センターもあるので、安心して子育てができています。

天候に左右されずに、子どもと遊べる場所があつてうれしいです。
産後に「産後ケア応援券」を、市からもらうことができるのも助かります。



困っていることはありませんか？

子ども医療費が無償なのは助かりますが、緊急で病院に行こうとしたときに、銀行に寄るのが手間に感じるので、病院の窓口負担を無料にしてほしいです。

市では、令和7年4月診療分から18歳以下の子どもの医療費の窓口負担を無料にする方針です。

教えてキジカケルくん！

■センノオトのキッズスペースって何があるの？



子どもたちが1500冊以上の本を読むことができたり、工作ができたりするスペースがあるよ。
「つくっどらーんど」では、身近な廃材やささまざまな材料で自由に工作できるよ。



他にも遊びから学びにつながる知育玩具で遊ぶことができるよ。



■他にはどんな施設があるの？

センノオトは、キッズスペースだけでなく、学習スペースやカフェスペースがあるんだって！親子三世代が楽しめる交流拠点施設なんだよ。

インストラクターとの出会い

「夫の仕事の関係で与論町に引っ越した時、運動指導をされている方に出会ったことがインストラクターになるきっかけだった」と語るのは、本市でインストラクター、パーソナルトレーナーとして各種教室を開いている福永智子さん。

福永さんは、出会った方の「子育ては忙しさから孤独や疎外を感じやすい。また、運動の時間が取りにくいいため、心身ともに弱ってしまう。妊産婦が運動に参加できる環境を作りたい」という熱い思いに影響を受けたそうです。当時の福永さんは3人の子どもを育てながら、各地を転々としており、忙しさや孤独を感じていたとのこと。

その後、福永さんはインストラクターの資格の取得や人体に関するさまざまな学びを深め、15年前からマタニティヨガのレッスンを始めたといいます。本市では産前産後ヨガを担当しています。

ヨガは自分との対話

妊婦は、出産という未知の体験への不安や日々の身体の変化に緊張し、出産後の子育てへの不安も大きいそうです。「ヨガをすることは自分と対話するこ

とであり、運動不足による不調の改善に加え、リラックス効果もあり、自身の変化を受け止める強さを持てるようになる」と言います。

さらに、マタニティヨガのグループレッスンでは、「同じ境遇の仲間がいることで安心感が得られ、心が和らぐことが何よりの効果だと感じている」と語ってくれました。地元の人に限らず、引っ越してきたばかりの方なども参加して交流の場にもなっているそうです。



▲産前産後ヨガの様子

気を付けてほしいこと

「最近では、動画を見ながらヨガをする方もいるが、負荷の大きい動きもあつて危険なことがある。マタニティヨガで気を付けることは、その時の体調。市の産前産後ヨガでは何が起るかわからないということを前提に、助産師や保健師が付いて体調チェックをしているので

安心して受講できる」と教えてくれました。

ヨガの魅力を皆さんに

妊産婦だけでなく、さまざまな方に向けてヨガ教室を行っている福永さん。「これから若男女問わず、体と心の両面からヨガの魅力を伝えていきたい。心身の健康は気になるが、どんな運動をしたらいいのかわからないという方が多い。私はその気持ちに寄り添いたい」と言います。

「周りの人にたくさん助けられてきたので、恩返しのような気持ちで取り組んでいる。ヨガの後に皆さんが笑顔で帰っていくときが一番うれしい」と言う福永さん。マタニティヨガの参加者は増えていますが、まだ悩んでいる方は多いと感じているそう。「一人で抱え込まず気軽に参加してほしい」と熱い思いを語ってくれました。

※マタニティヨガは、「母子手帳アプリ 母子モ」のオンライン予約または電話でお申し込みできます。詳しくは、ホームページをご覧ください。



▲さつまSENDAIサポート窓口



▲相談窓口一覧



▲地域子育て支援センター



▲産後ケア応援券サービス

また、子育てに関する悩み事や相談がある場合は、相談窓口の一覧を市ホームページに掲載していますので、ご確認ください。

他にも本市には、SSプラザさんだいにプレイスペース（キッズスペース）を設置しているの、お子さんとの時間に利用してみてください。



亀山幼稚園 ☎(22)6232



教育目標 元気いっぱい、笑顔いっぱい、
思いやりのある心豊かで
たくましい子供の育成

保護者からのコメント
園庭が広く、大きなプールもあり、子どもたちは
伸び伸びと楽しく過ごしています。学校給食なので、
小学校に入学しても安心です。また、急な用事でも
預かってもらえるのは助かります。

園長からのメッセージ
一人一人の「やってみたい」の気持ちを大切に、遊
びや体験活動を通して、さまざまなことを学んでい
ます。保護者や地域に親しまれる幼稚園を目指して
います。

ひわき幼稚園 ☎(37)3677



教育目標 心身ともに健やかで明るく、
感性豊かな子供の育成

保護者からのコメント
整備された園庭や遊具で優しい先生方や仲良しの友
だちと遊ぶ時間が充実しているようで、毎日楽しく登
園しています。小学校併設も魅力的で入学に向けての
準備もできます。

園長からのメッセージ
一人一人の個性を大切に、その子に合ったきめ細
やかな教育を実践しています。また、小学校に隣接
しているので、小学校への入学がスムーズにできる
ことを視野に入れた教育を実践しています。

城上幼稚園 ☎(30)2155



教育目標 共に学び 共に輝く 城上の子

保護者からのコメント
自然豊かな環境で、季節折々の体験を味わいながら、
小学校との交流を通して、小学校入学までにスムーズ
な流れができます。また、少人数クラスできめ細やか
な対応をしてもらい、安心して預けられています。

園長からのメッセージ
個性を大切に、全員が輝く園児の育成を目指して
います。城上小学校との交流を盛んに行い、さまざ
まな活動をしており、「地域の宝」として、地域ととも
に子どもたちを大切にする教育を実践しています。

東郷幼稚園 ☎(42)1547



教育目標 遊んで、考え、学び、
豊かな感性をもつ子供の育成

保護者からのコメント
「わくわく、にこにこ」のキャッチフレーズのとおり、
子どもが伸び伸びと楽しく登園しています。先生方が
さまざまなことに気付いて、お話してくれるのでうれ
しいです。

園長からのメッセージ
子どもたちは豊かな自然と触れ合い、たくさんの
体験を通して学んでいます。共感し、認め合い、一
人一人の笑顔を大切にする教育を実践しています。

市立幼稚園(本土区域)を紹介します

問合せ先＝本庁学校教育課学事G(内線 5351)

本市には、本土区域に4園、甕島区域に4園の市立幼稚園があります。今回は、本土区域の4園を取り上げ、特色や一日の流れなどについて紹介します。

市立幼稚園の特色

幼児教育の充実や
特別支援教育の取り組み

幼稚園と小学校をつなぐ

地域との連携や子育て支援



どのような教育や保育を目指しているの？

園児一人一人の思いを大切に、遊
びや体験活動を中心とした総合的
な教育や保育実践に努めていま
す。また、「幼児期の終わりまで
に育ってほしい姿」(10の姿)を踏
まえて、計画し、実践することで、
園児の「生きる力の基礎」を育て
ています。



▲市ホームページ



特別支援教育って何だろう？

特別な配慮が必要な園児の困り事に寄り添い、子
ども同士の関わる場や機会を大切にしています。
療育施設との連携を図りながら、一人一人の育ち
をサポートするように努めています。



市立幼稚園の一日の流れ

7:00～9:00	預かり保育
8:30～9:00	園児登園 登園活動 運動・制作・表現 遊びなど
11:30～	片付け 給食準備(小中学生 と同じ献立) 給食
12:30～	片付け、歯磨き、 運動・制作・表現 遊びなど
13:30	降園活動
14:00	園児降園
14:00～18:00	預かり保育



小学校とはどのように連携しているの？

小学校での生活や学びのつながりを踏まえた体験
や援助を行うようにしています。また、授業参観
や交流活動、小学校との連絡会などを計画・実践
し、スムーズな就学をサポートしています。



地域との関わりや子育て支援の役割は？

地域の行事に参加し、地域の方々と交流を行って
います。園内開放や未就園児交流会、子育て相談
なども行っています。



今回掲載している内容は、令和6年度現在の情報です。
令和7年度の市立幼稚園は、薩摩川内市立幼稚園適正規
模等基本方針に基づき決定します。
詳しくは、市ホームページをご確認ください。



▲市ホームページ



▲午前中の活動の様子

※長期休業期間も預かり保育を実施しています。(預かり保育は申請が必要です。)
※土・日曜日・祝日の預かり保育は実施していません。



▲川原口支店長(前段左から2番目)と社員の皆さん

今回は、株式会社アステムを「深ボリ!」。川内支店長川原口武さんにお話を伺いました。

事業の概要

当社は、医薬品や医療機器、電子カルテ、医薬品の在庫管理システムなどの医療関連商品を病院や調剤薬局、介護施設などの医療福祉機関に提供している医療卸売会社です。



▲商品管理の様子

従業員と共に成長する
当社は、「従業員一人一人が会社と共に成長し続けること」を方針に掲げ、充実した研修制度や、個人の学びと健康を支援する人事制度を整備しています。

今後の抱負
当社の基本理念に、「へん」の打開というものがあります。これは、病気やけがをしたときに感じる不安、不快、不足、不便、不満など、人々の健康に関わるさまざまな「へん」を取り除くという意味です。



▲啓発活動の様子

深ボリ! 企業のチカラ

第70回 株式会社アステム

平成10年に今の体制になりました。
当社では、在庫管理や経営支援システムを活用することで、業務効率化につながる「医療DX(デジタルトランスフォーメーション)」を提案しています。

病気を知ってもらうために
当社は、医薬品や医療関連機器の卸売りのほか、行政や医療機関と協力して病気に関する啓発活動や予防活動に取り組んでいます。その一つに、心不全の予防方法を周知する活動があります。近年の高齢化に伴い、心不全を発症する方が増えているので、活動を通して生活習慣の改善や早めの受診を促しています。



入社8年目
弥栄翼さん

社員からのメッセージ

私は営業職として医療福祉機関を訪問し、現場における困りごとの解決に最適な医薬品やシステム、サービスを提案しています。

私が提案した医薬品を使用したことで、患者さんの症状が改善されたという、非常にうれしく思います。

今後も営業スキルと医療に関する知識の習得に努めながら、医療機関に有益な提案を続ける「へん」の打開を患者さんに届けたいと思います。

株式会社アステム 川内支店

— Information —

代表者：支店長 川原口武
所在地：平佐町 3711 番地
従業員数：17人
連絡先：☎ 099(285) 5111 (電話窓口)



ホームページ▶



鹿児島県の郷土料理 サツマイモと秋ナスのがね



やました かりん
山下 夏鈴さん

今回は、本市で新規就農者として農業を営んでいる山下夏鈴さんに、サツマイモと秋ナスを使ったがねを紹介していただきました。

知人の紹介がきっかけで、3年前から焼酎の原料として使用される黄金千貫(サツマイモ)を作っている山下さん。「焼酎を作っている方から、サツマイモ基腐病の影響で、原料になる黄金千貫が足りないので作ってみたいかという話があり、とにかくやってみようと思いました」と話します。農業の経験は全くありませんでしたが、もともと外で活動することが好きで、重機に興味があったことから挑戦してみることにしたそうです。「建物を解体するテレビ番組で、重機を動かしている人を見て、私がしたいことはこれだと思いました。その後、クレーン車などの重機の大変な特殊免許を取得し、収穫などの作業の際に役立てています」と話します。

「がねは小さい頃から祖母が作ってくれ

て、家族みんなで食べている思い出の味です。小さなイモは出荷できないですが、料理には使いやすく、おいしく食べることができます。また、秋ナスを使用することで、ナスの柔らかさとサツマイモのサクサクの食感が楽しめます」と今回の料理を選んだ理由を教えてくださいました。

「黄金千貫を作るのは、除草作業をしたり、肥料の割合を考えたりと大変なこともあります。自分が納得する黄金千貫が収穫できた時と、重機を操作している時がとても楽しいです。また、出荷できない小さなイモは、地域の無人販売所で販売することもあります。それを楽しみに待っている方がいるのでとてもうれしいです」と話します。

「これからの目標は、出荷できる量を増やすだけではなく、1つ1つ大きくて質の良い黄金千貫を作ることです」と今後の意気込みを笑顔で教えてくださいました。

～ワンポイント～

- ショウガを使うことで風味が増しておいしくなる。
- 砂糖にガラメを使用すると甘みが増す。



レシピ

【材料】(2人分)

- サツマイモ：1本 ●秋ナス：1本
- ニンジン：1本 ●ニラ：3本
- ショウガ：1スライス ●卵：1個
- 薄力粉：70グラム ●もち粉：30グラム
- 水：大さじ4 ●揚げ油：適量

【調味料】

- 砂糖：大さじ1と2分の1 ●塩：小さじ4
- 薄口しょうゆ：大さじ2分の1

【作り方】

- 1 ショウガは千切り、それ以外の野菜は拍子木切りにして、ニラは同じ長さになるように切る。
- 2 ボウルに卵を割って、白身をほぐすように混ぜ、調味料を加えて、さらによく混ぜる。
- 3 ②に薄力粉、もち粉を加えて、なじむようにさっくり混ぜる。
- 4 ③に切った野菜を入れ、衣が具にまとわりつくような感じになるまで、水を少しずつ入れながら混ぜる。
- 5 形を整えて、170度の油できつね色になるまで揚げる。



皆さんの思い出の料理を大募集

皆さんの思い出の料理とそれにまつわるエピソードなどがありましたら、どしどし情報をお寄せください。取材に伺います。
問合せ／秘書広報課企画総務・広聴広報G (内線 4122)



毎年10月10日は
世界メンタルヘルスデー
(国際記念日)です！

～こころの病について知ましょう～

問合先／本庁障害福祉課
支援G(内線 2173)

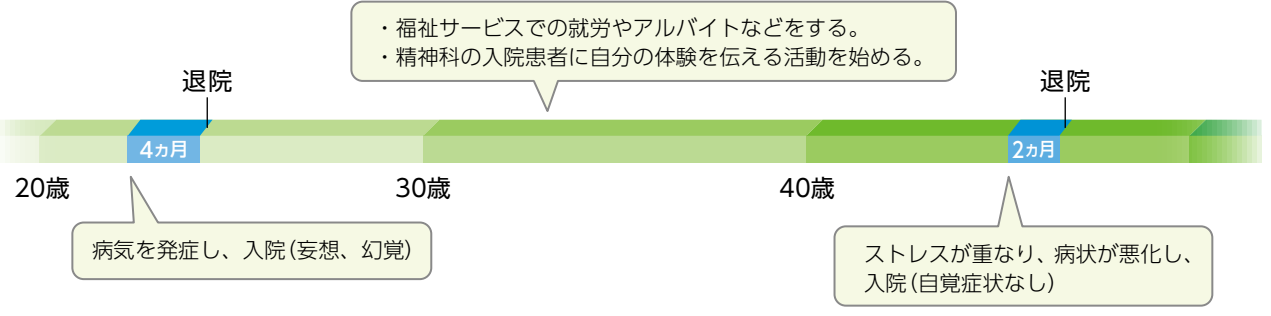
こころの病気(精神疾患)は、脳になんらかの変化が起こったり、脳の働きが損なわれたりすることにより、さまざまな精神症状、身体症状、行動の変化が見られる状態です。**誰でもかかる可能性**があります。

今回は、10月10日の世界メンタルヘルスデーにちなみ、統合失調症を抱えながら地域で生活している方の事例を紹介します。

■ 統合失調症とは？

こころの病の1つで、気持ちや考えがまとまりづらくなってしまう病気です。症状には、幻覚、妄想、思考の混乱など、健康な時にはなかった状態が現れる症状と、意欲や感情表現が減るなどのあったものが失われる症状があります。早く治療を始めるほど、回復も早いといわれていますが、再発を繰り返すことが多いので、治療を続けることが大切です。

統合失調症の事例 (40代女性)



20歳 4ヵ月 退院
病気を発症し、入院(妄想、幻覚)

30歳

40歳 2ヵ月 退院
ストレスが重なり、病状が悪化し、入院(自覚症状なし)

・福祉サービスでの就労やアルバイトなどをする。
・精神科の入院患者に自分の体験を伝える活動始める。

【現在の生活】

治療を続け、病気と付き合う

- 訪問看護師に週1回自宅に訪問してもらい、自分の体調と一緒に確認してもらっています。また、薬に日付を記入するアドバイスや、調子が悪くなったらすぐ受診するように声掛けをしてもらっています。

さまざまな社会資源を利用しながら生活

- 福祉サービスでの就労などを行っており、小物作製などに励んでいます。たくさんの人に触れ合えるのが楽しいです。
- 両親の病院受診に同行し、家族のサポートを行えるようになりました。

メッセージ

こころの病は誰でもかかり得る病気です。メディアなどで幻聴を**やっ**擲擧しているように感じる表現や精神障害者を差別しているのではと思う時もあります。病気のことをまだまだ知らない人が多いと思うので、これを機会に、ぜひ知ってほしいです。

まずは、こころの病やこころの病を抱えている方を「**知る**」ことから始めましょう。相談したいことがありましたら、下記窓口までお気軽にご相談ください。

主要な相談窓口		名 称	電話番号	対応時間
行政	市	障害福祉課	(23)5111	月～金 8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)
		市民健康課	(22)8811	
	県	川薩保健所	(23)3166	
		精神保健福祉センター	099(218)4755	
総合相談	障害者基幹相談支援センター	えの可愛会(宮内町)	(22)0112	月～金 8:30～17:30
		サニーサイド(中郷町)	(24)0331	
		えんじょい 縁joy(水引町)	(26)2463	月～金 8:00～17:00
		つくし園(永利町)	(24)2385	月～金 8:30～17:15



▲こころの病を抱える方の地域での生活をサポートします
～こころのサポート相談窓口一覧～

国民健康保険制度の対象者の皆さんへ

国民健康保険は、もしものときに安心して医療機関を受診できるように、加入者が国民健康保険税を出し合って医療費をみんなで支え合う助け合いの制度です。職場の医療保険(社会保険・船員保険・共済保険など)に加入している人と、その扶養家族および生活保護を受けている人以外は、すべての人が国民健康保険に加入することになります。届け出が必要な場合や、マイナ保険証について紹介します。

●こんなときは、必ず届け出をしましょう

①国民健康保険加入(脱退)の届け出が遅れると、医療費が全額自己負担となる場合や国民健康保険税と健康保険料の二重支払いとなる場合があります。

②交通事故など、第三者から傷病を受けた場合(注1)は、国民健康保険が加害者側に費用の請求を行いますので、保険年金課に連絡をし、「第三者行為による傷病届」を提出してください。
(注1)交通事故や他人の飼い犬にかまれた、傷害事件に巻き込まれた など

14日以内に届け出をしないとけないもの

- ・職場の健康保険に加入したとき
- ・市外に転出するとき
- ・死亡したとき
- ・氏名が変わったとき
- ・就学のため市外で生活するとき
- ・保険証を紛失したとき など

●一部負担金を減免できる制度があります

世帯主または、その世帯に属する被保険者が、災害などによりその生活が困難になった場合において、一部負担金の減免などを行うことができる場合がありますので、保険年金課へご相談ください。

●特定健診を受診しましょう

受診期間は、11月30日(土)まで

市では、国民健康保険に加入している40歳から74歳の方を対象に、メタボリックシンドロームに着目した特定健診を実施しています。

健診を受けることで、生活習慣病の早期発見につながり、要介護状態の原因となる心筋梗塞や脳卒中など命に関わる深刻な病気を未然に防ぐことにもつながります。対象者には受診券を送付していますので、早めに受診しましょう。



▲特定健診を受診しましょう

マイナ保険証を活用しましょう

令和6年12月2日以降、現在の健康保険証は廃止され、マイナンバーカードを保険証(マイナ保険証)として利用していただくことになります。廃止される日の前に交付された健康保険証の有効期限までは、これまでどおり健康保険証として使用できます。

ただし、廃止された日以降は再発行であっても健康保険証は発行できません。

マイナ保険証利用の主なメリット

より良い医療が可能に！

初めての医療機関でも、特定健診の情報や今までに使った薬剤情報が医師などと共有できます。

保険証としてずっと利用可能！

就職、転職、引っ越しをしても保険証の切り替えや更新が不要になります。(保険者が変わる場合、異動の届け出は必要です。)

手続きなしで限度額を超える一時的な支払いが免除！

限度額認定証などがなくても、高額医療費制度における限度額を超える支払いが免除されます。

健康保険証が廃止された後、マイナ保険証を保有されていない方には、市から「資格確認書(注2)」を送付しますので、引き続き、医療を受けることができます。

(マイナ保険証を解除した場合などは、市に申請することで「資格確認書」が交付されます)

(注2)資格確認書とは、被保険者証の代わりとなるものです。



▲マイナンバーカードの保険証利用

マイナ保険証に関する問合先

マイナンバー総合フリーダイヤル(通話料無料)
0120-95-0178
平 日 9:30～20:00
土日祝 9:30～17:30



▲マイナポータル特設ページ

●国民健康保険に関する問合先

- ・国民健康保険について
保険年金課(内線 2841、2843)
- ・納付相談について
収納課(内線 2450、2451)

国民健康保険税は納期限内に納めましょう。

ハーモニー響かせ、九州大会で金賞受賞

8月23日(金)、福岡県で開催された九州小学生バンドフェスティバルに、県代表として隈之城小学校金管バンド部の児童36人が出場し、金賞を受賞しました。楽曲「このみちや ～山頭火が見た風景～」を演奏し、レベルの高いソロ演奏を織り交ぜながら一体感のあるハーモニーを響かせました。



次世代に受け継がれる伝統芸能

8月25日(日)、入来地域で、無病息災や五穀豊穡を祈願する副田楽下手一本矢旗太鼓踊り(副田地区)と朝陽太鼓踊り(朝陽地区)の奉納と巡回が行われました。高齢化により後継者不足となっているなか、小中学生などの参加により、受け継がれていく伝統の踊りが披露されました。



家族で夏の風物詩を満喫

8月25日(日)、少年自然の家で、ファミリー自然体験隊(夏)を開催しました。7家族23人が参加し、竹を使って箸と器を作った後、流しそうめんや縁日体験を行いました。夏の風物詩を家族で楽しみ、笑顔があふれる一日になりました。



入来で夏まつりを楽しみました

8月31日(土)、入来総合運動場で、市誕生20周年記念第48回入来夏まつりが開催されました。地元の人たちによるステージショーや出店などがあり、会場は大いに盛り上がりました。最後には、約500発の花火が打ち上げられ、夜空を彩りました。



集中力と精密さを活かし、銅賞を受賞

9月5日(木)、川内職業能力開発短期大学の末次凜人さんと指導者たちが表敬訪問しました。7月末に開催された第19回若年者ものづくり競技大会「旋盤」職種での銅賞受賞を報告しました。競技は、鉄を0.01ミリメートル単位で図面通りに加工する精密なもので、末次さんは「支えてくれた人を思い、作ることに集中した」と語ってくれました。



開催地の意地を見せつけ、レガッタ優勝

9月7日(土)、8日(日)、川内川で、市誕生20周年記念第33回全国市町村交流レガッタ薩摩川内大会を開催しました。全国の24市町村から104チーム、本市から8チームが出場し、男子160歳未満の部では、市消防局の「薩摩川内ファイターズ」が優勝しました。



【情報提供：市ローイング協会】

はじめて消防車に乗ったよ

8月17日(土)、亀山幼稚園で、市消防団川内中央北分団亀山部による親子消防体験会を行いました。参加した9組22人の親子は、団員の指導の下、放水体験や消防車の試乗体験を行いました。滅多にできない体験に、子どもたちは「初めて消防車に乗れてうれしかった」と喜んでいました。



【情報提供：亀山幼稚園】

狙いを定めて一投入魂

8月18日(日)、樋脇町で、子ども会同士の交流を目的としたモルック大会を開催しました。参加した子どもたちのほとんどは初体験でしたが、モルック(木の棒)を投げて上手にスキットル(木のピン)を倒すたびに歓声上がり、楽しい時間を過ごしました。



【情報提供：薩摩川内市子ども会育成連絡協議会】

自衛隊駐屯地で夏休みを満喫

8月22日(木)、陸上自衛隊川内駐屯地で夏休みちびっ子大会を開催しました。小中学生約50人が参加し、自衛隊員の基本動作を習いました。その後、大型トラックの試乗体験や装備品展示、目的地に行くまでの時間を競うオリエンティERINGなどで盛り上がり、楽しい一日を過ごしました。



【情報提供：陸上自衛隊川内駐屯地】

「まちの話題」に投稿ください。



まちの話題は、市民の皆さんからいただいた情報により、身近な話題を掲載しています。皆さんからのたくさんの投稿お待ちしております。



投稿方法

①タイトル(11文字程度) ②本文(140文字程度)
③投稿者名 ④連絡先 ⑤写真1枚～3枚
を添えて、秘書広報課までメールで投稿ください。
メールアドレス/koho@city.satsumasendai.lg.jp

※内容やスペースの都合により掲載できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

熱闘! 第15回離島甲子園

8月19日(月)～22日(木)、苓岐市(長崎県)で、第15回全国離島交流中学生野球大会(離島甲子園)が開催され、全国から23チームが参加しました。本市からは甕島選抜チームが出場し、猛暑の中でもチーム一丸となって全力を尽くし、楽しくプレーしました。



催しいっぱい、七夕おはなし会

8月22日(木)、セントピアで、七夕おはなし会を開催し、70人の子どもたちが参加しました。今年は参加した地区コミュニティ協議会が今年の4地区から6地区(育英、川内、隈之城、水引、峰山、鳥丸)に増えました。今村聡氏による宇宙についての講演や人形劇、寸劇「はだかの王様」、抽選会を行い、子どもたちは大いに楽しみました。



【情報提供：隈之城地区コミュニティ協議会】